

# 泉区ボランティアネットワーク通信

2016年 No.15

## ■ 第7回ボランティアフォーラム

### ホットで楽しい“交流会”

「ボランティアサークルの仲間と楽しいひとときを」。そんなスローガンで一人ひとりが楽しみ、盛り上げて参加しているイベントだが、今年も成功裡に終わった。コーヒーの出店の前の休憩場所もテーブルを4カ所にして、昨年より倍近く増やしたのも良かった。来場した人たちも充分、歓談できたことだろう。

午後1時、多目的ホールの活動・発表コーナーでトップバッターを務めた大正琴の演奏が始まるころには80席はほぼ満席。係員が慌ててイスの補給で大忙しの場面も。

「ひなまつり」「仰げば尊し」「早春賦」「蛍の光」「上を向いて歩こう」など名演奏が次々披露され大きな拍手を受けていた。続いて「踊って健康！フラ体操」「家庭で役立つ防災ミニ知識」「パネルシアターおはなし会」「みんなで一緒に健康体操」など熱演がいっぱい。

一方、団体交流室・対面朗読室の方も「布おもちゃグループ」のマスコットづくり、「保育ボランティアマミー」でも手作りおもちゃの体験コーナーが子どもや若いママたちに人気のスポット。例年、人気沸騰の「ほっと♡カフェ」の温かいコーヒーやお菓子の試食が先着200人に無料のおもてなし。笑顔での接客サービスにはいつも、つい「もう一杯」になってしまう。「おもちゃの病院ドクトルベアーズ」の玩具の修理、実演コーナーはいまやフォーラムの定番だ。同サークルの代表・高橋雅夫さん(90歳)は仲間からテクニカル・アドバイザーと呼ばれ、どんなものでも直せないものはないという神様のような存在だ。この日も子供たちは大人たちの手作業を、真剣に見つめていた。

このフォーラムには毎年欠かさず参加しているという稀代素子さん(中田南)は「この時期になると胸がワクワクしてくるんです。昔の仲間、友人など、そして朗読の仲間が元気でやっているのを見ると嬉しくなる。語り合えるのって本当に楽しい」。朗読の達人は、やっぱりいつも若々しい。来年の再会が今から楽しみだ。

このフォーラムには毎年欠かさず参加しているという稀代素子さん(中田南)は「この時期になると胸がワクワクしてくるんです。昔の仲間、友人など、そして朗読の仲間が元気でやっているのを見ると嬉しくなる。語り合えるのって本当に楽しい」。朗読の達人は、やっぱりいつも若々しい。来年の再会が今から楽しみだ。

(宮田貞夫)



## ■いずみ寺子屋の昨今

巷ではホテルの光のメロディーが聴こえるシーズンになりました。私ども、「いずみ寺子屋」でも3名の卒業生を送り出します。3名のその後の身の振り方は、三ツ境養護学校へ通う人、ひなたやま特別支援学校へ通う人等さまざまです。4月を迎えると3名の欠員補充の為、近隣の中学校へPR活動をする予定です。

一方、日常のメンバー達は、性格も様々な為、目を離せません。自発的に宿題をやるようになったり、一階の地域ケアプラザの事務所に用事もないのに行ったり来たりするメンバーもいます。それが同一人物ですから、どのように指導したらよいか、悩みは尽きません。しかし、打つ手はまだあります。先ず、どのような室内ゲームに興味があるか。現在はピンポン、ボール遊び等です。遊び道具は他にオセロ、将棋等があります。今後、どのようなゲームに興味を示すのか、いろいろ試してみます (田中 光治)

## ■「音声訳ボランティア いずみ」が入門講座を開催します！

文字情報を音声に変える「音声訳」。“朗読”とは違い、「読み」に感情を込めることなく、正しくわかりやすく伝えるのがポイントです。利用者（視覚に障がいのある方）が必要としているのはローカルな情報です。これをまとめたものが月刊テープ雑誌「せせらぎ」です。創刊以来、変遷して300号近くになります。対面朗読・図書の音声訳・区社協だよりの音声訳なども行っています。情報の選択や下調べも魅力の一つです。

間もなく30年を迎える「音声訳ボランティア いずみ」。5年ぶりに会員募集のため、入門講座を開催します。パソコン操作の出来る方、お待ちしております。 (今村 光夫)



## ■「傾聴ボランティア・モモ」が養成講座を5月に開講！

傾聴ボランティア・モモの養成講座を5月から開講します。

モモは、主として泉区内の高齢者施設で傾聴活動をしています。

「傾聴」とは、否定や忠告などをしないで、相手が今どのような気持ちなのかを心に寄り添って聴くことです。傾聴では、「受容」と「共感」を大切にしています。相手に寄り添い、反論せずに聴くことは、相手の気持ちを聴き、ひいては心を聴くことに通じると思います。

私たちが傾聴を学び実践することが、個人のみならず家庭や地域社会が次の一步を踏み出す一助になるようにと願っています。

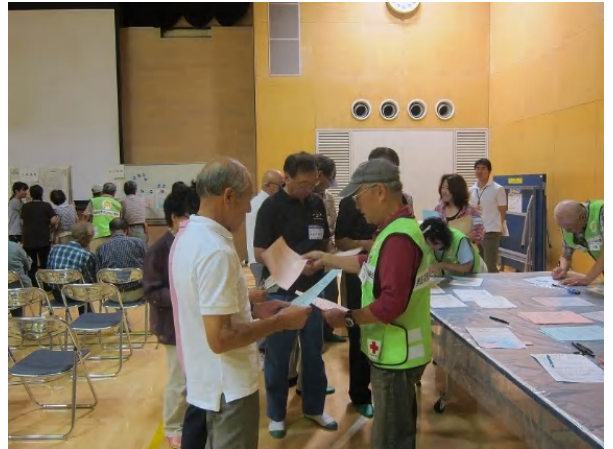
傾聴ボランティア・モモの養成講座は、4月8日まで受け付けます。詳しくは泉区ボランティアセンターまでお問い合わせください。 (三ヶ田 博之)

## ボランティアグループ活動報告

### 『泉区災害ボランティア連絡会』

災害が起きた時、ボランティアは被災者を支援する大きな力となっています。大きな災害により被害に遭われた方々やその地域では、自分の生活で精一杯。共助（近助や隣助）も、ままならないないで、たくさんの「困りごと」が起こってきます。

泉区でそういった状況となった場合、泉区災害ボランティア連絡会は、泉区社会福祉協議会とともに、泉区災害ボランティア・センターを開設・運営することになります。



下和泉地区センターでのセンター運営訓練

#### ■ボランティア派遣依頼とボランティアへの依頼内容

センターは、被災者・地が自助や共助ではできない「困りごと」を受付けます。要望（ボランティア派遣依頼）は個人でも自治会町内会などの地域単位で取りまとめてでも結構です。その場合、被災の状況、何を手伝ってほしいかを積極的に伝えてください。しかし、ボランティアの人数が少ない時は、すぐに対応できないこともあります。また、二次被害の危険があるときは作業ができないこともあります。さらに医療行為など専門的な内容の場合は、センターではお受けできませんので、専門分野をお紹介します。

#### ■ボランティアさんへ

ボランティアは行政の手が回らない部分や関与できない分野で活動します。被災地に出かける時には、被災者の気持ちやプライバシーを尊重して行動してください。自己責任・自己完結がボランティアの原則です。遠方から来られる場合には宿泊先を予め確保し、水や食料、着替えも持参します。活動中のケガや事故に対応するため、事前に天災付ボランティア保険に入っておいてください。

発災当初のボランティア活動は、がれき除去や清掃、側溝整備（泥だし）、救援物資の仕分け作業、避難所の環境改善活動などが中心となりますが、被災者の生活支援（買物支援、調理支援、）ふれあいサロンなどの交流活動、イベント実施など平常時と同じ活動が増えてまいります。当然、センター運営中は、そのスタッフとしても募集しますのでご応募ください。

#### ■災害ボランティア連絡会の活動

被災者・地の復旧・復興が目的です。大規模災害の場合には、泉区だけでは対応が困難となります。区対策本部、区社協、関連組織・団体とは当然、近隣区、横浜市、神奈川県、その他地域の関連組織・団体との連携が必要になります。

ぜひ、この活動を一緒にしていただく仲間を募集しています。（江尻 哲二）



瀬谷区で、近隣区合同訓練（中高生も参加）

## ■第29回 泉区社会福祉大会 功労賞受賞者及び活動発表者

2月27日(土)、第29回泉区社会福祉大会が開催されました。長年、ボランティア活動に貢献された当ネットワークの多くの仲間が表彰されました。

### ○ ボランティア活動功労 ○

〈個人〉

- ・ブラインドメイトさくらんぼ 古谷秀雄
- ・たすけあいグループゆりの会 有水 弘

〈団体〉

- ・世代ふれあいサロンしんばし
- ・気軽にサロン
- ・タンタン



### ○ 福祉団体自主活動功労 ○

- |                                |                                       |
|--------------------------------|---------------------------------------|
| ・傾聴ボランティア・モモ<br>戸谷真理、小林治美、高橋雪子 | ・NPO法人あやめ会<br>高橋建二、高尾 勲               |
| ・富士見が丘福祉の会<br>鈴木光政、高澤敏男        | ・飯田八日会<br>杉山洋子                        |
| ・緑園サロン<br>古川英子、嶋本洋子            | ・木工ボランティアグループ<br>I ZUMI WOODY<br>横田茂隆 |



## ==== <編集後記> =====

冴返る 港の朝の 別れけり

3月のちょうど今ごろの季節であろう。春の声を聞いても寒さが厳しくなる日がある。この繰り返しの中で、春は一步一步近づいてくる。文豪・川端康成の作品でいかにも川端らしい句である。長期予報では、今年の開花は例年より早いらしい。イベントを計画したところは、早い遅いで一喜一憂する頃でもある。この時期はわれわれにとっても福祉大会、ボラ・フォーラムと週に2度の大きなイベントが重なる。忙しくも楽しい時である。

主催者側のお願いだが、福祉大会で入場券のチェックが厳しく、返された人も何人かいたこと。また、「各メディア取材についてのお願い」は新聞社、テレビ等のメディアに対する厳しい内容だった。一説には講師の要望を取り入れたとも聞いたが、いずれにしても楽しみにしてきた人に不愉快な気持ちにさせたことは確かだった。

(宮田貞夫)

### 編集委員

発行責任者

江尻 哲二

広報委員長

宮田 貞夫

広報委員

金川 一之

中嶋 光代

今村 光夫

泉区ボランティア

センター

### ■問い合わせ・加入申込み■

泉区ボランティアセンター (泉区和泉中央南5-4-13 泉区社会福祉協議会内)

電話：045-802-2150 FAX：045-804-6042

Email：ivc@shakyo-iy.or.jp 泉区ボランティアネットワークHP <http://network.shakyo-iy.or.jp/>